

## 9 家政学原論の範囲について

昭和女子大学 原田 一

家政学原論は家政学の根本問題を研究する分野であって、家政学の概要を講述する家政学概論と区別される。また家政学原論は、ひとまず家政学の外に出て、外から家政学を批判するもので、家政学の中にある、家政の運営を研究する家庭管理学とは区別される。

家政学原論の範囲は次のとおりである。

- (1) 家政学の意義および範囲 新興の科学として、家政学の意義および範囲は明確を欠くので、これを明らかにして、他の学問との間に境界をひくこと。
  - (2) 家政学の性格 このようにして明らかにされた家政学は、学問としていかなる性格をもっているかを研究する。
  - (3) 家政学の研究方法 家政学の研究方法を論ずる。
  - (4) 家政学の体系 家政学にはどのような分科があるか、またそれらの相互関係について研究して体系を立てる。
  - (5) 家庭生活の本質 家政学の対象たる家庭生活の本質はいかなるものかを、生物学・人類学・社会学等の方面より研究する。
  - (6) 家庭生活の理念 家庭生活のあるべき姿およびその根底とする思想を哲学方面より研究する。
- 付 家政学史 家政学の発達史と研究。